



平成29年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月10日

上場会社名 ジャパン・フード&リカー・アライアンス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2538 URL http://www.j-fla.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 檜垣 周作  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務計画部長 (氏名) 杉 義継 (TEL) 06-7688-5900  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第1四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第1四半期	6,579	△10.1	359	6.7	236	△8.0	137	229.6
28年9月期第1四半期	7,320	1.4	336	△26.4	257	△33.3	41	△87.5

(注) 包括利益 29年9月期第1四半期 177百万円(759.7%) 28年9月期第1四半期 20百万円(△94.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第1四半期	1.13	—
28年9月期第1四半期	0.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第1四半期	23,527	5,590	23.8
28年9月期	21,713	5,412	24.9

(参考) 自己資本 29年9月期第1四半期 5,590百万円 28年9月期 5,412百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	—	—	0.00	0.00
29年9月期	—	—	—	—	—
29年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年9月期の期末配当予想額については、未定であります。

3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,000	△5.1	230	△1.0	70	13.6	10	—	0.08
通期	23,900	0.2	600	△8.1	250	4.5	100	△10.7	0.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年9月期1Q	122,291,520株	28年9月期	122,291,520株
29年9月期1Q	47,130株	28年9月期	47,130株
29年9月期1Q	122,244,390株	28年9月期1Q	116,529,896株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・配当については、業績に応じた適正な利益還元を行うことを基本方針とし、企業体質の一層の強化及び将来の事業展開に備えるための内部留保の充実等を勘案して決定しております。現時点においては事業環境に不透明な要因が多いことから配当予想額を未定としておりますが、開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境や企業収益に改善が見られ緩やかな回復基調が続きました。一方で、中国をはじめとするアジア新興国の景気減速や、急激な為替変動のリスクにもさらされ、国内景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

食品業界におきましては、依然として企業間競争が激しく、生活必需品に対する節約志向が継続しており、厳しい経営環境となりました。

このような状況の中、当社グループは、平成28年10月1日より食品類・酒類事業の中心である盛田㈱の営業組織を2支社・4事業部制へ変更し、各事業部での専門性を高め営業力の強化に努めました。またグループ全体の取組みとしては、新商品の開発・導入、既存顧客の深耕、新規顧客の開拓、輸出の拡大等を掲げ、また更なるコストの削減を推進し利益の向上を図りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は6,579百万円(前年同期比10.1%減)、営業利益は359百万円(前年同期比6.7%増)、経常利益は236百万円(前年同期比8.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は137百万円(前年同期比229.6%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### (食品類・酒類事業)

醤油類につきましては、家庭用の主力商品「マルキン こいくちしょうゆ 1L」「マルキン うすくちしょうゆ 1L」が苦戦したものの、家庭用のPB商品や業務用が順調に推移したこと等により、前期並みの売上となりました。

つゆ・たれ類につきましては、「盛田 国産しょうがだれ しょうゆ味 230g」や新商品の「盛田 国産紅ずわい蟹だしょうま鍋つゆ 750g」が好調に推移したものの、業務用が苦戦したこと等により、前期の売上を下回りました。

みりん風調味料及び料理酒につきましては、家庭用の主力商品「盛田 料理酒 1L」やリニューアルした付加価値商品「盛田 国産米100%純米料理酒 500ml/1L」が順調に推移したものの、業務用が苦戦したこと等により、前期の売上を下回りました。

漬物につきましては、市場規模が縮小している中、主力商品の「忠勇 あっさり味なら漬(胡瓜) 120g」が好調を維持し、また甘口タイプで食べやすく仕上げた「忠勇 徳島県産なら漬け甘口仕立 100g」も順調に推移したこと等により、前期の売上を上回りました。

飲料につきましては、主力商品の「ハイピース 加賀棒茶 330ml」や新商品の「ハイピース オーガニック ジャスミン&ルイボスティー 500ml」他が堅調に推移し、PB商品も新規獲得や得意先での販売が好調だったこと等により、前期の売上を上回りました。

酒類につきましては、清酒は大吟醸酒の「金紋ねのひ金賞受賞酒 720 ml」の試飲販売を行い拡販に努めたものの、主力商品の「尾張常滑郷の鬼ころし 2L」「尾張 男山 2L」が苦戦したこと等により、前期の売上を下回りました。清酒以外では、本みりんが主力商品の「盛田 蔵出し本みりん 1L/1.8L」やPB商品が好調に推移したこと等により、前期の売上を上回りました。

この結果、当事業の売上高は3,569百万円(前年同期比1.2%減)、セグメント利益(営業利益)は228百万円(前年同期比67.6%増)となりました。

#### (輸入食品類・酒類販売事業)

業務用食材につきましては、ブルガリア産及びハンガリー産のフォアグラが堅調に推移し、フランス産キャビアが新規顧客開拓等により売上を伸ばした他、フランスのジュース「アラン・ミリア」も順調に推移しました。しかしながら、平成27年11月にフランスで発生した鳥インフルエンザの影響により主力商品のフランス産フォアグラ・肉類の調達が滞ったため売上を落とし、全体としては前期の売上を下回りました。

製菓用食材につきましては、主力商品「Kiriクリームチーズ」を使用した新商品が既存取引先から発売された他、新規顧客開拓も堅調に推移したものの、全体としては前期の売上を下回りました。

小売用商品につきましては、フランスを代表するビスケット「サンミッシェル」やスペイン産の高級ポテトチップス「トーレス」他が順調に推移したものの、これまで主力商品であった「ボンヌママンジャム」の取扱いがなくなったこと等により、前期の売上を下回りました。

ワイン類につきましては、ホテル・レストランへの新規拡販、高級クラブ他のナイトマーケットや地方量販店の開拓等に取り組み、カリフォルニアワインやスペインワインは売上を伸ばしたものの、主力商品の「ボランジェ」が苦戦したこと等により、前期の売上を下回りました。

この結果、当事業の売上高は2,899百万円(前年同期比19.3%減)、セグメント利益(営業利益)は188百万円(前年同期比31.7%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、現金及び預金が700百万円、受取手形及び売掛金が1,453百万円増加し、商品及び製品が323百万円減少したこと等から、前連結会計年度末に比べ1,809百万円増加し12,442百万円となりました。固定資産は、有形固定資産が26百万円、投資有価証券が18百万円増加し、のれんが38百万円減少したこと等から、前連結会計年度末に比べ4百万円増加し11,084百万円となりました。その結果、総資産は前連結会計年度末に比べ1,813百万円増加し23,527百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、支払手形及び買掛金が1,002百万円、未払費用が455百万円増加したこと等から、前連結会計年度末に比べ1,620百万円増加し16,200百万円となりました。固定負債は、長期借入金が17百万円増加したこと等から、前連結会計年度末に比べ15百万円増加し1,736百万円となりました。この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ1,635百万円増加し17,936百万円となりました。

当第1四半期連結会計年度末の純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益137百万円により利益剰余金が増加したこと等から、前連結会計年度末に比べ177百万円増加し5,590百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く環境は、今後も厳しい状況が続くものと予想しております。このような事業環境の中、既存の食品事業領域における着実な成長と、経営の効率化により財務体質の健全化を図ってまいります。

なお、平成28年11月11日付「平成28年9月期決算短信」にて発表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,767	2,467
受取手形及び売掛金	4,372	5,826
商品及び製品	2,369	2,046
仕掛品	1,193	1,267
原材料及び貯蔵品	429	427
その他	505	414
貸倒引当金	△5	△7
流動資産合計	10,632	12,442
固定資産		
有形固定資産		
土地	6,376	6,376
その他(純額)	2,093	2,119
有形固定資産合計	8,470	8,496
無形固定資産		
のれん	1,375	1,336
その他	106	99
無形固定資産合計	1,482	1,435
投資その他の資産		
その他	1,784	1,803
貸倒引当金	△656	△650
投資その他の資産合計	1,128	1,152
固定資産合計	11,080	11,084
繰延資産	0	0
資産合計	21,713	23,527

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,650	2,653
短期借入金	11,027	11,111
1年内償還予定の社債	9	9
1年内返済予定の長期借入金	334	311
未払法人税等	76	110
賞与引当金	76	60
その他	1,404	1,943
流動負債合計	14,580	16,200
固定負債		
社債	11	11
長期借入金	816	833
退職給付に係る負債	90	92
その他	803	799
固定負債合計	1,720	1,736
負債合計	16,301	17,936
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,757	3,757
資本剰余金	8,496	8,496
利益剰余金	△6,981	△6,843
自己株式	△5	△5
株主資本合計	5,267	5,404
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24	25
繰延ヘッジ損益	△41	0
為替換算調整勘定	3	3
退職給付に係る調整累計額	158	156
その他の包括利益累計額合計	145	185
純資産合計	5,412	5,590
負債純資産合計	21,713	23,527



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
売上高	7,320	6,579
売上原価	5,308	4,697
売上総利益	2,011	1,881
販売費及び一般管理費	1,674	1,522
営業利益	336	359
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	1
持分法による投資利益	16	17
その他	17	15
営業外収益合計	34	34
営業外費用		
支払利息	92	84
為替差損	6	54
その他	14	17
営業外費用合計	113	156
経常利益	257	236
特別利益		
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
特別調査費用	78	—
過年度決算訂正関連費用	68	—
災害による損失	—	23
その他	1	0
特別損失合計	148	24
税金等調整前四半期純利益	108	212
法人税、住民税及び事業税	65	59
法人税等調整額	0	14
法人税等合計	66	74
四半期純利益	41	137
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	41	137

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	41	137
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	0
繰延ヘッジ損益	△20	41
為替換算調整勘定	△1	△0
退職給付に係る調整額	△3	△1
その他の包括利益合計	△21	40
四半期包括利益	20	177
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20	177
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。